

事後評価 計画名称 熊本県広域的地域活性化基盤整備計画

【事業主体】

熊本県、熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、宇城市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、阿蘇市、合志市、天草市、美里町、南関町、長洲町、和水町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、高森町、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、芦北町、水上村、相良村、五木村、球磨村



計画の目標・計画期間

各地域間の連携や物流の促進による地域の活性化、九州新幹線全線開業を契機とした来訪者との交流促進。

[平成20年度～平成24年度(5箇年)]

H20	H21	H22	H23	H24
熊本県広域的地域活性化基盤整備計画				

道路利用者

橋梁補修を“13橋”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

トンネル補修を“8本”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

舗装補修を“約121km”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

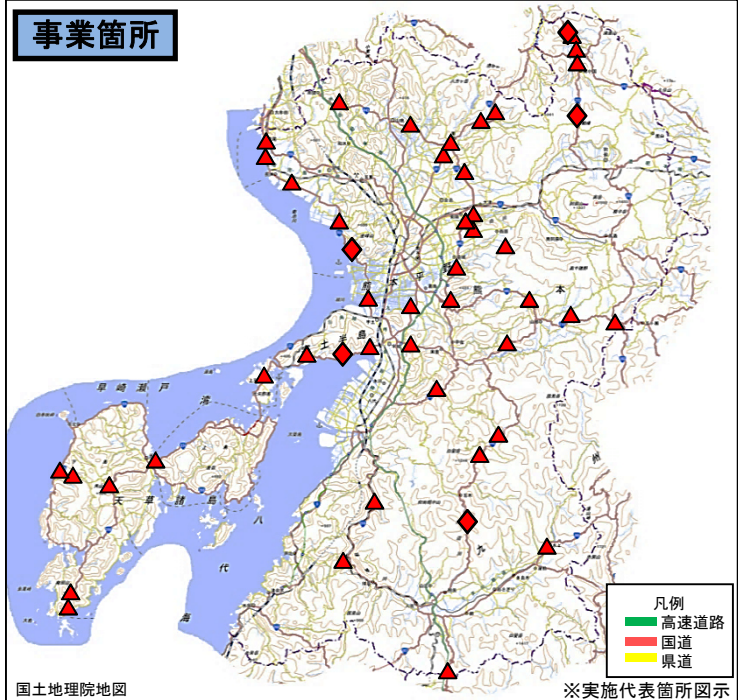
要素事業の進捗状況

単位:箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考	
				完了	継続		
基幹事業	県	道路修繕 ▲	81	78	78	0	舗装補修、橋梁補修等
		道路防災 ◆	4	4	4	0	越波対策等
提案事業	県	—	5	5	5	0	案内板設置等

目標達成状況

指標	広域的特定活動	人口減少や少子高齢化、世界同時不況により地域の活力が低下する中、地域間の交流や物流の促進を通じて地域の活性化を図るため、県内の各地域間を結ぶ道路状況を改善する。併せて、九州新幹線全線開業により乗降客の増加が予想される中、九州新幹線が停車する4駅や愛称変更により知名度アップを狙う阿蘇くまもと空港、海上交通の要所である熊本港及び本県の主要な交流施設や観光地を拠点施設とし、本県に観光やビジネスでの来訪者の回遊性を高めるために拠点施設間の交通アクセスを改善し、海外や県外からの来訪者との交流も促進する。		
	目標	各地域間の連携や物流の促進による地域の活性化、九州新幹線全線開業を契機とした来訪者との交流促進。		
指標①	指標	道路の走りやすさ(阿蘇・天草方面への走りやすさ)		
	目標と指標及び目標値の関連性	円滑な道路運行による交流促進		
	達成状況	阿蘇・天草地域の舗装補修については、国道212号阿蘇郡小国町下城ほか19箇所の整備を完了した。それに伴い、計画していた事業の進捗状況等により、道路の走りやすさ(阿蘇・天草方面への走りやすさ)の目標を達成できた。		
		当初現況値(H18)	最終値(H24)	
		目標値	☆☆☆	☆☆☆☆
		実績値	-	☆☆☆☆
指標②	指標	宿泊者数(県内の宿泊施設に宿泊する人の数)		
	目標と指標及び目標値の関連性	地域間交流や観光・ビジネス等による宿泊者数の増加		
	達成状況	県内の舗装補修については、国道212号阿蘇郡小国町下城ほか47箇所の整備を完了し、トンネル補修については、国道218号万坂トンネルほか7箇所の整備等を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、宿泊者数の増加の目標を達成できなかった。		
		当初現況値(H18)	最終値(H24)	
		目標値	672万人/年	750万人/年
		実績値	-	683万人/年
指標③	指標	製造品出荷額(県内企業の製造品出荷額)		
	目標と指標及び目標値の関連性	物流による国際交流と地域間交流の促進		
	達成状況	県内の舗装補修については、国道212号阿蘇郡小国町下城ほか47箇所の整備を完了し、トンネル補修については、国道218号万坂トンネルほか7箇所の整備等を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、製造品出荷額増加の目標を達成できなかった。		
		当初現況値(H18)	最終値(H23)	
		目標値	2.8兆円/年	4.0兆円/年
		実績値	-	2.4兆円/年



今後の方針

未実施箇所のやまもみじ橋、かえで橋及び観峯橋の橋梁補修や妙見坂トンネルのトンネル補修などの早期整備効果発現のため、新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。